

令和 7 年度保健福祉センター内障がい者福祉センター指定管理者総合評価

【評価対象年度】：令和 6 年度

施設のサービス水準の視点コメント

利用者へのアンケート調査において、「施設の利用のしやすさ」「職員の対応・態度」「実施事業の充実度」について 7 割以上の利用者が大変満足、やや満足と回答している。また、意見や要望においてもできる範囲で利用者とその家族のニーズに答えられるよう対応しており、利用者のニーズに寄り添ったサービス提供ができていると評価する。また今年度は冷房の故障や照明に関する問題があったが、利用者やその家族への説明や故障中の対応等も適切に行っていた。その他にも利用者とその家族、地域の方とも交流できるイベントも行われ、利用者から喜びの声があがっていたことも評価できる。

収支状況 コメント

生活介護の利用者数減少があり、収入は予算額を下回った。また支出においても、光熱水費が値上がりにより実績額が予算額を上回り、研修費の増大により事業費の実績額も予算額を大幅に上回った。しかしながら放課後等デイサービスの新規利用児獲得による収入が増えたことにより収支状況は前年度に比べて改善したものの、まだ安定した利用には至っていないとのことなので、さらなるサービス水準の向上等により、安定的な利用者数の確保に努めて事業収入を増やし、収支状況の改善に努められたい。

市による総合評価 コメント

収支状況は前年度より改善したが、生活介護、放課後等デイサービス共に安定的な利用者数の確保が重要な課題であり、見学者や体験希望者の積極的な受け入れ、ホームページ等における情報発信の活用を行い、利用者確保に努めていく必要がある。また、今年度は送迎車両による事故が 1 件、センター内での利用者の転倒事故が 1 件あった。研修や原因追究等による、事故の再発防止を求める。一方で、当指定管理者は、利用者やその家族のニーズ把握に努めるためのアンケート調査において、7 割以上の利用者が「施設の利用のしやすさ」「職員の対応・態度」「実施事業の充実度」について大変満足、やや満足と回答している。またさまざまなイベントを通じて利用者とその家族、地域の方との交流機会を設けることができている。利用者やその家族からも喜びの声が上がっており、利用者に寄り添った運営ができている点について評価する。また、研修についても外部研修の内容は全体に周知を図り、ケース検討では利用者や障がいについて理解を深めるとともに、職員全体の情報共有を図っている。今後も職員体制を強化し、利用者が適切な支援を受けることができる事業運営を期待する。その他に地域の障がい児（者）施設では受け入れが難しい医療的ケア児（者）や重症心身障がい児（者）を率先して受け入れており、今後も重症心身障がい児（者）の生活を守る役割を期待する。以上の理由により、概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされていると判断した。

総合評価

B

総合評価区分凡例

- A：協定事項等を上回る水準で施設運営がされ、大変良好なサービスが提供されている
- B：概ね協定事項等の水準どおり施設運営がされている
- C：協定事項等の水準以下であった